

日医ニュース

2024. 11. 20 No. 1515

日本医師会
Japan Medical Association

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16
電話 03-3946-2121(代)
FAX 03-3946-6295
E-mail www.info@po.med.or.jp
https://www.med.or.jp/

毎月2回 5日・20日発行 定価 2,400円/年(郵税共)



トピックス

- 定例記者会見 …… 2～3面
- 医療機関・薬局での資格確認とレセプト請求 …… 6面
- 勤務医のページ …… 8面

冒頭、あいさつした松本吉郎会長は受賞者に祝意を伝えた上で、設立77周年を迎えた日本医師会について、「多事多難な時代の中でも、常に地域医療の確保に専心してきた先達の真摯な姿が、今日までの歴史を築いてきた」と述べ、「その歴史の重みを受け止めながら、執行部一同今後も精励していく」と強調。

その上で、人口減少と高齢化率の上昇が進む日本の現状について触れ、国民皆保険制度を基盤とした医療提供体制の強化と、地域における医療・



日本医師会設立77周年記念式典並びに医学大会が11月1日、鰐淵洋子厚生労働副大臣、高橋英登日本歯科医師会長、岩月進日本薬剤師会長出席の下、日本医師会館大講堂で開催され、長きにわたって医学・医療の発展に貢献した功労者を顕彰した（被表彰者一覧は別掲参照）。

介護の切れ目のない連携がますます重要となっているとし、「日本医師会には更なる組織強化を原動力に、誰もがどこでも必要かつ十分な医療を継続的に受けられるよう、社会保障制度の安定性と持続可能性の確保に努めていく」として、引き続きの理解と協力を求めた。

来賓あいさつをした鰐淵厚労副大臣は、能登半島地震等の災害への対応並びに次なる感染症危機への備えに向けた日本医師会の活動に謝意を示すとともに、日本医師会の発展に長年尽力し、医療

の質上げ、医療DXの実現等を推進しているところである。引き続き日本医師会と議論を重ねながらより良い医療のための取り組みを進めていく」と強調した。

その後、表彰式に移り、受賞者に対して松本会長から表彰状が授与された。受賞者を代表して謝辞を述べた池端幸彦福井県医師会長は、国家財政のひっ迫により医療を含めた社会保障に対する不安が募り、自然災害の発生等も相次ぐ中で、地域医療の役割はますます重要になっており、日本医師

日本医師会設立77周年記念式典並びに医学大会 長きにわたり医学・医療の発展に 貢献してきた功労者を顕彰

の発展や社会福祉の向上に貢献してきた受賞者に祝意を伝え

また、医療行政について触れ、少子高齢化の進む現在、将来にわたって質の高い医療を提供していくための改革を進める重要な時期にあるとし、「厚労省としても、医師偏在対策や新たな地域医療構想、医療分野

会を中心とする医師会組織のより強固な団結が求められている」と指摘。日

本医師会に対して、「一人生100年時代における国民の命と暮らしと尊厳を守るため、更なる強い指導力を発揮して頂きたい」と期待を寄せた上で、

吉田松陰の言葉を引用しながら、引き続き医師会活動等を通じ、地域医療の向上のために努めていく姿勢を示した。

なお、白寿会員149名、米寿会員827名の慶祝者には、更なる長寿を祈念して、後日にお祝いの品が贈呈された。

日本医師会優功賞

◆在任10年日本医師会委員
会委員

神村裕子(山形)
水野雅文(東京)

日本医師会医学賞

◆DOCKファミリー分子の生体機能と動作原理に関する統合的研究
福井宣規(九大生体防御医学研・免疫細胞生物学)

◆がんの正確な情報発信と研究体制整備整備によるわが国のがん対策推進の礎となる体制づくりへの貢献
祖父江友孝(阪大・がん疫学・公衆衛生学)

◆個別化がん治療に必要なバイオマーカー研究による世界初がんエピゲノム体外診断薬の開発
石岡千加史(東北大・腫瘍内科学)

◆分娩に関する分子機構解析から安全な医療体制確立までの研究
木村 正(堺市立病院機構・産科)

米寿会員
今井敏夫(北海道) 他 (827名)



大内通江 (香川)



佐々木悦子 (宮城)



土屋和弘 (静岡)



池端幸彦 (福井)



水谷元雄 (埼玉)



松倉則夫 (茨城)



高原周治 (兵庫)



橋本 修 (滋賀)



名嘉恒守 (沖縄)



田村精平 (高知)



池田 徹 (鹿児島)



川崎 洋 (福岡)



福田 裕 (愛媛)



今井義禮 (徳島)



佐々木正博 (広島)



石川 紘 (岡山)



河合直樹 (岐阜)

白寿会員
斎藤秀夫(北海道) 他 (149名)

米寿会員
今井敏夫(北海道) 他 (827名)

の意義の解明
斎藤優樹(国立がん研・分子腫瘍学)

◆ミトコンドリア電子伝達系リモデリングをターゲットとした糖尿病関連腎臓病の新規治療戦略
三瀬広記(岡山大学・腎・免疫・内分泌代謝内科学)

◆全身性エリテマトーデスの新規診断マーカーならびに治療薬の開発
河野通仁(北大・リウマチ・腎臓内科学)

◆ポリジェニックおよびメチル化リスクスコア相互作用に基づく統合失調症と双極性症の病態解明
大井一高(岐阜大学・精神医学)

◆生体肝移植におけるOperational Toleranceを目指した個別化免疫抑制療法の開発
田嶋哲也(京大・肝胆膵・移植外科)

◆霊長類モデル動物を用いた霊長類特異的な感覚難聴の分子生物学的メカニズムの解明と新規治療標的の探索
細谷 誠(慶大・耳鼻咽喉科・頭頸部外科学)

◆卵巣がん患者体液中エトロニンM解析による新規診療モデル開発研究
横井 暁(名古屋大学・産婦人科学)

の発展や社会福祉の向上に貢献してきた受賞者に祝意を伝え

第45回産業保健活動推進全国会議

産業医の質と量 両面での一層の向上を目指して

第45回産業保健活動推進全国会議が10月24日、日本医師会館大講堂で、WEB会議システムを用いてハイブリッド形式で開催された。

開会に先立ち、福岡資麿厚生労働大臣（代読）は、佐々木孝治厚生労働基

礎局安全衛生部労働衛生課長、松本吉郎会長、大西洋英労働者健康安全機構理事長、相澤好治産業医学振興財団理事長がそれぞれあいさつを行った。

松本会長は、新型コロナウイルス感染症の影響により、産業医研修会の開催縮小などさまざまな不便がある中で、産業医活動に取り組んだ認定産業医の方々へ改めて謝意を示した上で、労働者のメンタルヘルス、高齢労働者の安全衛生、治療と仕事の両立、女性就業者の増加に伴う女性の健康課題、化学物質による健康被害など、産業医が働く人々のために対処すべき課題が多様化していることと言及。労働者の

健康を守る産業医に期待される役割は、これからますます重要になるとした上で、「日本医師会認定産業医制度は、労働者の健康を守ることを通じて、日本の産業社会が将来にわたり発展していくための基盤であり、認定産業医の社会的評価を今後一層高めるためにも、量と質の両面での更なる向上が期待される」と述べた。

中央情勢報告では、佐々木厚生労働基局長が中規模事業場（労働者数30〜49人）を対象とした産業医活動支援モデル事業を紹介。地域産業保健センターが市区等医師会と協力し、登録産業医を事業場とマッチングさせ、産業医によるパッセージ支援を提供することとなっているが、その中で、「必須のサービスとして」「産業医と事業者の意見交換」を、選択的サービスとして「職場巡視や健診結果の意見聴取」などを実施すること

を引き続き、笹本洋一常務理事が司会を務め、「産業医の資質向上に向けた研修会の開催について」をテーマとしたシンポジウムが行われた。

松岡かおり常任理事は「認定産業医の資質向上の必要性と全国における産業医研修会の傾向」と題して講演した。

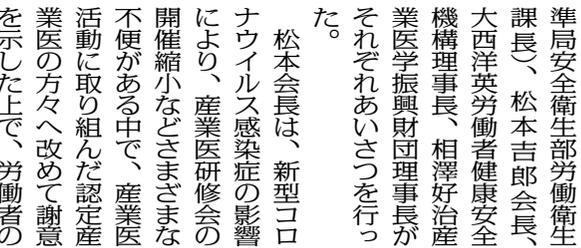
同常任理事は、コロナ禍で研修会の開催数が大幅に減少したことから、認定産業医の更新期限を延長する特例措置が取られていたが、2028年3月末をもってこの特例が終了することを説明。更新率が85%程度で推移すると、通常の更新者に加え、今後4年間で約1800人が更新を行う見込みであり、更新率が90%を超えると4000人近くが更新する可能性があるため、受講希望者の大幅な増加に対応できるように研修会の確保が必要となっているとし、「その対応策として、都道府県医師会においてはWEB研修会の実施、サテライト会場の設置、日本医師会の助成金活用、関係団体との協力、受講定員数の増員など、さまざまな対策を講じて頂きたい」と要請した。

中岡隆志労働者健康安全機構理事長は、全国の産業保健総合支援センターで実施している産業医向け研修の開催状況を、実地研修の状況などを説明。実地研修の課題と対策、都道府県医師会への委託研修の状況などを説明。実地研修の受講者数を増やすために、入れ替え制の導入や意見収集方法の工夫、産業医役と労働者役に分

かかれた産業医面談のロールプレイの実施など、さまざまな取り組みを実施していることを紹介した。

堀江正知産業医科大学副学長は、「認定産業医の知識・能力の維持と向上が重要だ」とした上で、認定産業医の研修実施状況の分析結果から、産業医学の本質的な内容を扱う研修が不足していることを問題視。地域医師会の研修を支援するため、日本医師会を通じて地域医師会から産業医科大学に講師派遣を依頼する仕組みを設け、講師派遣の申し込みフォームの試行運用を令和7年度から開始する予定であることを明らかにした。

続いて、笹本常任理事は、医師会会員情報システム「MAMIS」（10月30日公開）について、



「認定産業医の資質向上の必要性と全国における産業医研修会の傾向」と題して講演した。

同常任理事は、コロナ禍で研修会の開催数が大幅に減少したことから、認定産業医の更新期限を延長する特例措置が取られていたが、2028年3月末をもってこの特例が終了することを説明。更新率が85%程度で推移すると、通常の更新者に加え、今後4年間で約1800人が更新を行う見込みであり、更新率が90%を超えると4000人近くが更新する可能性があるため、受講希望者の大幅な増加に対応できるように研修会の確保が必要となっているとし、「その対応策として、都道府県医師会においてはWEB研修会の実施、サテライト会場の設置、日本医師会の助成金活用、関係団体との協力、受講定員数の増員など、さまざまな対策を講じて頂きたい」と要請した。

中岡隆志労働者健康安全機構理事長は、全国の産業保健総合支援センターで実施している産業医向け研修の開催状況を、実地研修の状況などを説明。実地研修の課題と対策、都道府県医師会への委託研修の状況などを説明。実地研修の受講者数を増やすために、入れ替え制の導入や意見収集方法の工夫、産業医役と労働者役に分

かかれた産業医面談のロールプレイの実施など、さまざまな取り組みを実施していることを紹介した。

堀江正知産業医科大学副学長は、「認定産業医の知識・能力の維持と向上が重要だ」とした上で、認定産業医の研修実施状況の分析結果から、産業医学の本質的な内容を扱う研修が不足していることを問題視。地域医師会の研修を支援するため、日本医師会を通じて地域医師会から産業医科大学に講師派遣を依頼する仕組みを設け、講師派遣の申し込みフォームの試行運用を令和7年度から開始する予定であることを明らかにした。

続いて、笹本常任理事は、医師会会員情報システム「MAMIS」（10月30日公開）について、

「認定産業医の資質向上の必要性と全国における産業医研修会の傾向」と題して講演した。

同常任理事は、コロナ禍で研修会の開催数が大幅に減少したことから、認定産業医の更新期限を延長する特例措置が取られていたが、2028年3月末をもってこの特例が終了することを説明。更新率が85%程度で推移すると、通常の更新者に加え、今後4年間で約1800人が更新を行う見込みであり、更新率が90%を超えると4000人近くが更新する可能性があるため、受講希望者の大幅な増加に対応できるように研修会の確保が必要となっているとし、「その対応策として、都道府県医師会においてはWEB研修会の実施、サテライト会場の設置、日本医師会の助成金活用、関係団体との協力、受講定員数の増員など、さまざまな対策を講じて頂きたい」と要請した。

中岡隆志労働者健康安全機構理事長は、全国の産業保健総合支援センターで実施している産業医向け研修の開催状況を、実地研修の状況などを説明。実地研修の課題と対策、都道府県医師会への委託研修の状況などを説明。実地研修の受講者数を増やすために、入れ替え制の導入や意見収集方法の工夫、産業医役と労働者役に分



「認定産業医の資質向上の必要性と全国における産業医研修会の傾向」と題して講演した。

同常任理事は、コロナ禍で研修会の開催数が大幅に減少したことから、認定産業医の更新期限を延長する特例措置が取られていたが、2028年3月末をもってこの特例が終了することを説明。更新率が85%程度で推移すると、通常の更新者に加え、今後4年間で約1800人が更新を行う見込みであり、更新率が90%を超えると4000人近くが更新する可能性があるため、受講希望者の大幅な増加に対応できるように研修会の確保が必要となっているとし、「その対応策として、都道府県医師会においてはWEB研修会の実施、サテライト会場の設置、日本医師会の助成金活用、関係団体との協力、受講定員数の増員など、さまざまな対策を講じて頂きたい」と要請した。

中岡隆志労働者健康安全機構理事長は、全国の産業保健総合支援センターで実施している産業医向け研修の開催状況を、実地研修の状況などを説明。実地研修の課題と対策、都道府県医師会への委託研修の状況などを説明。実地研修の受講者数を増やすために、入れ替え制の導入や意見収集方法の工夫、産業医役と労働者役に分

かかれた産業医面談のロールプレイの実施など、さまざまな取り組みを実施していることを紹介した。

堀江正知産業医科大学副学長は、「認定産業医の知識・能力の維持と向上が重要だ」とした上で、認定産業医の研修実施状況の分析結果から、産業医学の本質的な内容を扱う研修が不足していることを問題視。地域医師会の研修を支援するため、日本医師会を通じて地域医師会から産業医科大学に講師派遣を依頼する仕組みを設け、講師派遣の申し込みフォームの試行運用を令和7年度から開始する予定であることを明らかにした。

続いて、笹本常任理事は、医師会会員情報システム「MAMIS」（10月30日公開）について、

「認定産業医の資質向上の必要性と全国における産業医研修会の傾向」と題して講演した。

同常任理事は、コロナ禍で研修会の開催数が大幅に減少したことから、認定産業医の更新期限を延長する特例措置が取られていたが、2028年3月末をもってこの特例が終了することを説明。更新率が85%程度で推移すると、通常の更新者に加え、今後4年間で約1800人が更新を行う見込みであり、更新率が90%を超えると4000人近くが更新する可能性があるため、受講希望者の大幅な増加に対応できるように研修会の確保が必要となっているとし、「その対応策として、都道府県医師会においてはWEB研修会の実施、サテライト会場の設置、日本医師会の助成金活用、関係団体との協力、受講定員数の増員など、さまざまな対策を講じて頂きたい」と要請した。

中岡隆志労働者健康安全機構理事長は、全国の産業保健総合支援センターで実施している産業医向け研修の開催状況を、実地研修の状況などを説明。実地研修の課題と対策、都道府県医師会への委託研修の状況などを説明。実地研修の受講者数を増やすために、入れ替え制の導入や意見収集方法の工夫、産業医役と労働者役に分

お知らせ

日本医師会シンポジウム
受け継がれる北里柴三郎の志
～新千円札発行を記念して～

9月15日に開催した日本医師会シンポジウム「受け継がれる北里柴三郎の志～新千円札発行を記念して～」の動画を11月1日より日本医師会公式YouTubeチャンネルで掲載しています。ぜひ、ご覧下さい。



YouTube



日本医師会キャラクター

日医君公式グッズ販売中!

ご購入はコチラから
<https://bit.ly/3J5M2H8>

日本医師会 Japan Medical Association <https://www.med.or.jp> 日本医師会 検索

松本会長

日本健康会議2024で健康経営に関する
日本医師会の取り組みについて講演



松本吉郎会長は10月30日、都内で開催された「日本健康会議2024」に、日本健康会議の共同代表として出席。「健康経営に関する取り組みについて」と題し、日本医師会による健康経営に関する取り組みについて講演を行った。

当日は、小林健日本健康会議共同代表／日本商工会議所会頭が冒頭にあいさつ。続いて、来賓の福岡資麿厚生労働大臣、武藤容治経済産業大臣、加藤勝信財務大臣がそれぞれあいさつを行った。

あいさつの中で福岡厚生大臣は、政府が活用を促進しているマイナ保険証について言及。患者本人の健康・医療情報に基づき、より良い医療提供につながるマイナ保険証の活用推進への協力を求めた。

武藤経産大臣は、平成28年度に開始された「健康経営優良法人認定制度」について、認定企業数は順調に増加を続けており、昨年度時点の認定企業数は1万6700社余りとなったこと等を報告。その上で、労働環境

の改善や生産年齢人口の維持に貢献することが期待される同制度について、今後もその拡大に注力していく意向を示した。

加藤財務大臣は、自身が立場を変えながらも日本健康会議に関わり続けていること言及。国、経済界、医療団体、保険者、自治体と、多様な関係者が参画することで、健康経営のみならず、健康づくり、健康なまちづくりといった考え方も一般化してきたとして同会議の意義を強調した。

次に、渡辺俊介日本健康会議事務局長が「健康づくりに取り組み5つの実行宣言2025」の各項目の2024年における達成状況を報告した。

引き続き、松本会長が「健康経営に関する取り組みについて」と題して、(1) 日本医師会とは、(2) 健康経営の取り組み、(3) 社会に向けた健康に関する情報発信について講演を行った。

(1)では、日本医師会の成り立ちと会員数、都道府県、郡市区等医師会との関係性並びに医師会が果たしている役割等について説明した。

(2)では、日本医師会が健康経営優良法人として認可されるべく2018年度から活動を開始し、現在、5年連続で認定されていることを報告。更に、具体的な健康経営の取り組みとして、①特定保健指導の実施率改善②職員への情報提供・研修実施③ストレスチェックの有効活用④参加型イベントの開催による運動習慣定着⑤社員向け施設の充実化——等を紹介した。

特に「女性の健康課題」についてのオンラインセミナー「シリーズはいずれも20万回前後の視聴回数」となっている他、釜淵敏副会長が、女子高生とその保護者との対談形式で子宮頸がんワクチン(HPVワクチン)のキヤッチアップ接種の推進を呼び掛ける動画が、多く視聴されていることを報告した。

その他、「世界禁煙デー」に合わせた東京タワーのライトアップイベント、キッザニア東京への期間限定出展等の健康啓発活動も紹介。引き続き日本医師会として、各地の医師会や医療法人が健康経営優良法人を取得するよう働き掛けを行っていく意向を示した。

お知らせ
「新型コロナウイルス感染症対応
日本医師会休業補償制度」の
休止について

「新型コロナウイルス感染症対応 日本医師会休業補償制度」が、令和7年1月1日に満期を迎えます。令和2年11月の制度発足以来、数多くの会員に補償金をお届けすることができ、医療機関の経営の安定化に寄与したと考えられますが、その一方で(1) 令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことも影響し、足元では加入者数が大きく減少している、(2) 現在の加入施設の約25%が過去に補償金を受領しており、特定の会員のための制度という傾向が強くなっている——こと等の現状に鑑み、現在の契約は更新せずに制度として一旦休止させて頂くこととなりましたのでお知らせいたします。

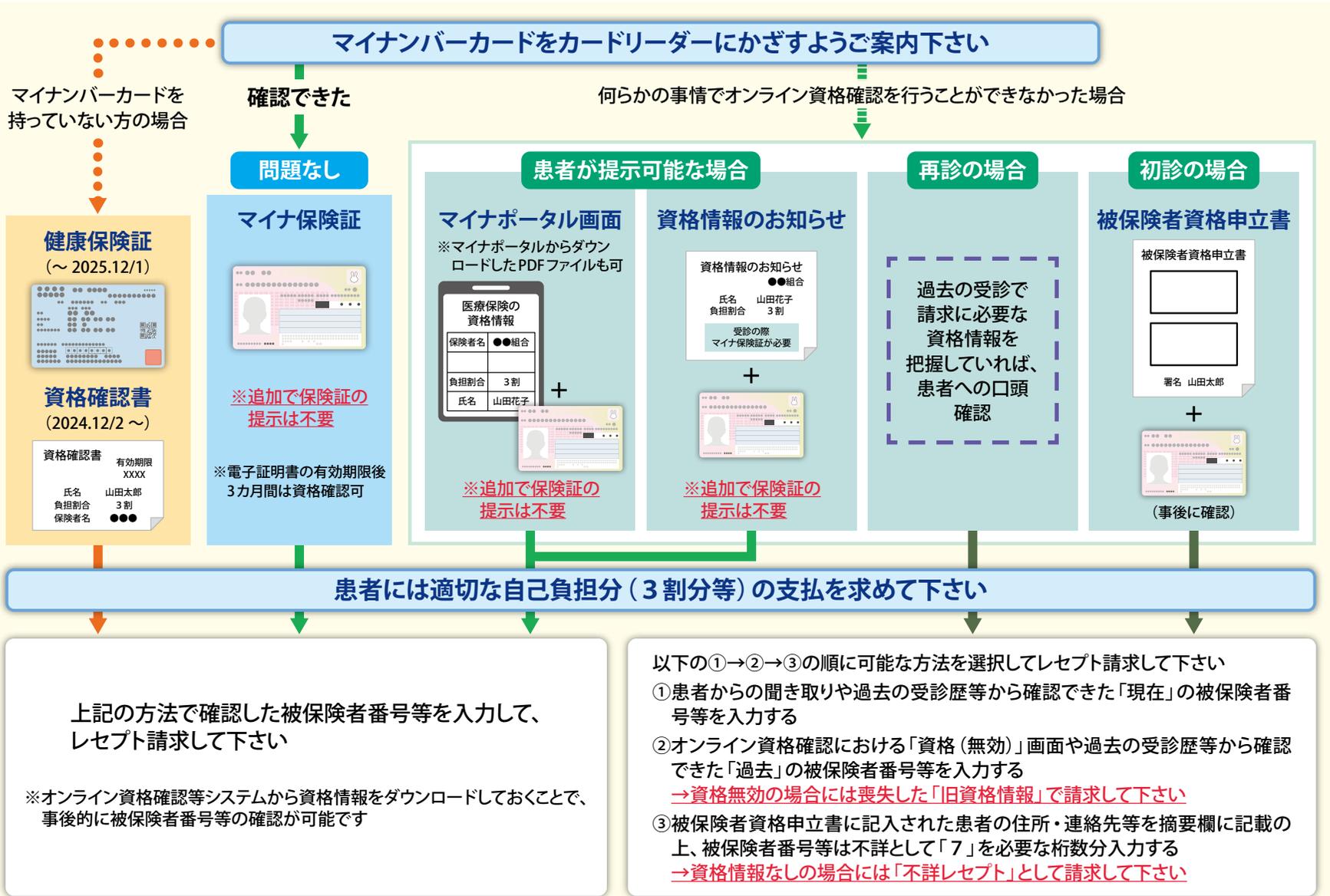
- ◆問い合わせ先：
①制度全般に関して
日本医師会 休業補償制度事務局
☎03-4332-4013 [平日9:30~17:00 (土日・祝日は除く)]
✉jmabi2020@web-tac.co.jp
②補償金請求に関して
東京海上日動火災保険株式会社 医療・福祉法人部
☎03-3515-4414 [平日9:00~17:00 (土日・祝日は除く)]
✉jmabi2020@tmnf.jp

開設者である医療法人が損害賠償請求を受けた場合の備えは大丈夫ですか？
日医医賠償保険は会員個人を対象としているため、法人に対して損害賠償請求を受けた場合、保険金が支払われない場合があります。
日医医賠償特約保険では、開設者である医療法人に対して損害賠償請求がされた場合にも保険金支払い対象となります。
日医医賠償特約保険 中途加入のおすすめ
日医医賠償保険の特色を継承し補完する日医A会員の任意加入保険です
加入をおすすめするA会員
法人の責任部分の賠償にも備えたいA会員
非A会員が起こした医療事故につき、開設者・管理者としての賠償にも備えたいA会員
高額賠償の支払い(1事故3億円、保険期間中9億円まで)に備えたいA会員
日医医賠償特約保険の内容・依頼書の入手については日本医師会ホームページをご覧ください。 https://www.med.or.jp/doctor/ibaiseki/ (上記2次元コードからもご覧頂けます)

医療機関・薬局での資格確認とレセプト請求（令和6年12月2日以降の取り扱い）

本年12月2日より現行の健康保険証の新たな発行が停止されます。それに伴って、10月31日に開催された社会保障審議会医療保険部会では、現場での混乱を防ぐため、医療機関・薬局における資格確認とレセプト請求に関するフローチャート（下掲）が示されましたのでご紹介いたします。本件に関する詳細は下記までお問い合わせ願います。

◆問い合わせ先：オンライン資格確認等コールセンター ☎0800-080-4583（通話無料）
月～金曜日（祝日を除く）8：00～18：00 / 土曜日（祝日を除く）8：00～16：00



社会保障審議会医療保険部会（2024年10月31日開催）資料より改変

案内

令和6年度 第3、4回産業医Web研修会



※スマートフォンでの研修会受講はできません。 ※申込ページより、当日の視聴環境（視聴パソコン、ネットワーク等）で、テスト動画の視聴・カメラ使用が可能であることをあらかじめ確認して下さい（確認できない場合でも、キャンセル期間後の返金はいたしません）。

◆主権：日本医師会
◆開催日時：第3回：12月19日（木）午後6時30分～8時35分 第4回：12月20日（金）午後6時30分～8時35分
◆開催方法：WEB（日本医師会Web研修システムによる配信）
◆受講資格：日本医師会認定産業医
※受講資格が無い場合でも、キャンセル期間後の返金対応は行いません。
◆受講人数：各回2000名（先着順）。定員に達し次第終了となります。
◆受講料：各回共に日本医師会2000円、非会員3000円（いずれもクレジット決済のみ）
◆取得単位：第3回：認定産業医制度生涯研修3単位、日本医師会生涯教育講座3単位 第4回：認定産業医制度生涯研修2単位、日本医師会生涯教育講座2単位
◆申込期間：11月25日（月）午後12時～12月15日（日）午後11時59分
※Googleフォームでの申し込みは締切が異なるため、申込ページでご確認下さい。
◆申込方法：日本医師会Web研修システムより、必ずカメラ機能付き

◆主権：日本医師会（令和6年度厚生労働省死体検案講習会事業）
◆受講対象者：医師（会員・非会員を問わず）
◆定員：1000名
◆研修方法：e-learning形式。あらかじめ撮影した講義動画を、受講者専用サイトにて期間内に視聴、講義ごとに確認テストを実施します。
◆申込受付期間：11月25



申込サイト

南から北から

愛媛県松山市医師会報 第358号より
エアポート快特 羽田空港行き
 日浅 豪



突然の喪失は、その場にいる者達に静寂と敬意をもたらす。TOKYO VALVESというTAVI（経力テール大動脈弁留置術）を中心とした構造的疾患の国際学会に参加した。その最終日に、その世界の巨匠であり、TAVIの父と称されたラン・クリヒエ博士が逝去したとの訃報が場内に流れた。79歳という若さでの死は、80歳を超える患者が主な対象となるTAVIを世界で初めて成功させ、多くの患者がその恩恵に与っているというその偉大な業績を逆説的に際立たせた。虎ノ門の会場を後にし、新橋駅からエアポート快特羽田空港行きに乗った。静かな車内に座り、品川駅で多くの乗客が押し寄せてきた時、一人の老婦人が目に留まった。立ち上がり席を譲ったところ、「私は糞谷で降りるので、それまで座らせてもらいますね」と人懐っこい笑顔で言った。

「んっっ。この電車、京急蒲田まで止まりませんよ」「あれ、乗る電車、間違えちゃった」と可哀想な声を出した。90歳というその老婦人は、60代の息子がいること、多摩まで一人で墓参りに行った帰途であること、そして自らの川柳が大田区で賞を受けたことなどをうれしそうに語り、愛媛はいいところね」「どちらまで行くの?」「子どもさんは?」「仲のいいご家族なのね。失礼ながらMMS E30点、Clinical Frailty Scale 2と診断した。品川を発って10分も経

た。若干耳が遠いために大きな声で会話せねばならず、周りの乗客の目（耳）が気にはなったが、旅の恥はかき捨てとばかり会話は盛り上がった。「どちらまで行くの?」「愛媛はいいところね」「子どもさんは?」「仲のいいご家族なのね。失礼ながらMMS E30点、Clinical Frailty Scale 2と診断した。品川を発って10分も経

た。そのこと人前で弾くのをやめてしまい、一人でこっそりとピアノを弾きむという道もあるのでは?と考えますが、不思議なものでそうするとは「是が非でも曲を仕上げる」という気概も無くなり楽しみが半減する気がして、結局毎年エントリーをしては「どうしてこんなものに出るって言うてしまったかなあ」と後悔しつつ、必死にピアノに向かう8月を繰り返しています。恐らく今年の発表会も何かしらの事故を起してがっくりという結末に終わると思います。落ち込みつつも「次は何を弾こうかな」と考えてしまうのが不思議なところで、まだまだこの沼からは抜け出せそうにありません。

大分県医師会会報 第840号より
性懲りもなく……
 山上由理子



この原稿を書いているのは8月初旬ですが、毎年この時期の私は焦りと後悔にとらわれ始めます。と言うのも、いい年齢になってから通い始めたピアノ教室の発表会が一日と迫ってくるからなのです。子どもの時に憧れたものの始めるに至らなかったピアノですが、娘がレッスンに通うタイミングでチャレンジしてみようと思ったところ、オンコールで休日でも遠出できない時に自宅でも楽しめる状態を何度経験したか分かりません。こちらに関しては自分で実験してデ

タを繰り返し練習すること、進歩している実感が得られないうちに、こたないうちに、彼女との別れが訪れた。我々は握手を交わし、彼女は最後に言った。「あなたのこと、今日の日記に書いてくわね」。姿が見えなくなるまで下車したホームから手を振ってくれていた。彼女の人生の「コマ（耳）」に加えてもらったこの出会いは、どこか重みを帯び、誇り高いものとなった。もし彼女が重症ASだったらクリエ先生の加護がありまますように、と失礼でお節介な祈りを捧げつつも、電車は静かに羽田空港へと走り続けた。

っそのこと人前で弾くのをやめてしまい、一人でこっそりとピアノを弾きむという道もあるのでは?と考えますが、不思議なものでそうするとは「是が非でも曲を仕上げる」という気概も無くなり楽しみが半減する気がして、結局毎年エントリーをしては「どうしてこんなものに出るって言うてしまったかなあ」と後悔しつつ、必死にピアノに向かう8月を繰り返しています。恐らく今年の発表会も何かしらの事故を起してがっくりという結末に終わると思います。落ち込みつつも「次は何を弾こうかな」と考えてしまうのが不思議なところで、まだまだこの沼からは抜け出せそうにありません。

い。そこから毎日出勤時の相棒になった。今は少ししか色落ちはしていないが、「まだ」でいいかなという未知の感覚に心が弾んだ。この新たな熱が冷めやらないうちに、ネットをサーフィンしていた私は革製品に遭遇した。革は何となく何年も持つイメージを持っていて。私自身、黒の革靴を何年も所有している。しかし、そんな中見つけたのはヌメ革だった。ヌメ革とは鞣しの工程で着色や表面加工をほとんど施さず、本革本来の手触りや匂いを楽しむものだ。何と言っても、黒や茶のイメージが強い革だが未使用のヌメ革はベージュであり、時間が経つにつれ手の油や紫外線で濃い色合いへと変化していく。より分りやすい経年変化をするのだ。買った段階で、まだ「でき上がっていない」ところに私はやはり惹かれ、早速ヌメ革を扱っている店に足を運んだ。そこには靴から鞆、時計に至るまでヌメ革で作られており、実際に経年変化している商品も見せてもらい私は恋に落ちた。

富山県富山市医師会報 第638号より
劣化という勿れ
 小林 大輝



セルビッジデニムを知っていますか? まるで通のように投げ掛けたこの質問だが、昨

年私自身が言われたことだ。新しいデニムを買おうと店内を物色していた時に、セルビッジの名を

冠した商品を見つけた。触り心地は不自然な程力チカチカで、均一な濃紺に染め上げられたその商品は正直私の好みではなかった。その硬さに不思議な顔をしていた私に気付いたのか、店員がおもむろに投げ掛けてきたのが冒頭の質問だ。デニムはあくもの、特段こだわりがない私にそんな知識があるはずもなかった。

娘が誕生している。もうすべー歳だ。すなわちもうすぐ歩き始める。妻はどんな靴を買ってあげようかまさに話していた矢先のことであった。「なんて可愛い革靴、」。思わず声に出た。これは買ってあげたい。しかし値札を見るとなかなか手ぐわいお値段。短い期間しか履けないしなあと悩んでいた時に、一緒に来ていた妻が寄ってきた。娘と一緒に育っていく靴なんだね、と妻。

セルビッジデニムを知っていますか? まるで通のように投げ掛けたこの質問だが、昨

年私自身が言われたことだ。新しいデニムを買おうと店内を物色していた時に、セルビッジの名を

冠した商品を見つけた。触り心地は不自然な程力チカチカで、均一な濃紺に染め上げられたその商品は正直私の好みではなかった。その硬さに不思議な顔をしていた私に気付いたのか、店員がおもむろに投げ掛けてきたのが冒頭の質問だ。デニムはあくもの、特段こだわりがない私にそんな知識があるはずもなかった。

（一部省略）

勤務医のページ

南極・昭和基地における医療

第65次南極地域観測隊設営・医療 小田有哉



約60年にわたり観測が継続されている。

日本から昭和基地への人員・物資輸送は原則、南極観測船「しらせ」による1年に1度きりである。夏期間には人員・物資輸送、緊急医療搬送目的に東南極に基地を持つ12万回が共同運航している航空網、DROMLAN（Droning Maud Land Air Network）が利用できる。

南極・昭和基地

私は第65次南極地域観測隊医療隊員として、2023年11月に日本を出発。オーストラリアまで飛行機で、オーストラリア・フリーマントル港から南極観測船「しらせ」で3週間かけて、日本から約1万4000キロメートル離れた南極・昭和基地に到着した。2025年2月初旬頃まで滞在する予定である。

昭和基地は1957年、第1次南極地域観測隊により、南極大陸から約4キロメートル離れた東オングル島に開設された。約60年にわたり観測が継続されている。

医療隊員の仕事

昭和基地内の医務室は



第65次南極地域観測隊

基地主要施設である管理棟内にある。医務室には手術室があり、過去には脊髄も麻酔下で手術が行われた。検査機器はX線撮影装置、簡易的な生化学検査、血球検査、超音波検査装置がある。

日本では多職種による分業化が進んでおり、医師が検査機器や放射線機器を扱う機会は少なくなっているが、昭和基地には臨床検査技師や放射線技師はおらず、看護師もいない。医療隊員のみで実施しており、改めてチーム医療のありがたさを実感している。

歯科治療室もあるが、歯科医も不在であるため、医療隊員は出発前に歯科研修を行っている。クラウンやインレーが脱落することもあり、再接着している。

診療件数は年間200〜300件程度であり、整形外科、皮膚科疾患が半数を占めている。南極ならではの皮膚科疾患には、厳寒下での作業による凍傷がある。集団生活をしているため白癬が流行することもあり、早期発見・治療が重要である。

勤務医のひろば

現在の外科医周辺の景色

青森市民病院院長 豊木嘉一



当時は男社会で、働き方改革などは程遠い労働環境だった。そんな我々外科医周辺の景色はというと、まさに体育会系のセピア色が広がっていたと記憶している。私にとっては懐かしい景色だが、そして現在、30数年の時が流れ、この間に外科医を取り巻く社会的環境は大きく変化してきている。日本社会全体が多様性を受容しつつあり、医学部においても女性の割合が増えてきている。

私は1990年に弘前大学を卒業後、当時の弘前大学医学部外科第二講座（現在の消化器外科学講座）に入局した。クローヤブルドガーを扱い基地周辺の除雪を行う他、夏期間には新しい建物を建てる。

南極地域観測

1957年から1958年の国際地球観測年に南極調査研究目的のため、戦後間もない日本を含む12万回国際協力体制が築かれ、1959年に南極条約が採択された。日本の南極地域観測は現在も国際的な枠組みの中で、文部科学大臣を本部長とする南極地域観測統合推進本部の下、多く

不確実な将来に、今こそ、

税優遇を活かして老後に備えるー

国民年金基金

国民年金（老齢基礎年金）に上乗せする「公的な年金制度」です

ポイント 税制上の優遇措置

- 掛金は全額社会保険料控除の対象
- 受け取る年金にも公的年金等控除が適用
- 遺族一時金は全額非課税

【ご加入条件】

- 20歳以上60歳未満の国民年金第1号被保険者の方
- 60歳以上65歳未満の国民年金に任意加入している方

※主に、個人立診療所の医師・従業員・ご家族などとなります。
※日本医師会年金（医師年金）に加入している方もご加入できます。

お問い合わせは下記どうぞ

全国国民年金基金

日本医師・従業員支部

☎0120-700650

HP上で24時間、資料のご請求・シミュレーション・加入申出のお手続きができます！

日本医師・従業員支部は、「日本医師会」を設立母体とする日本医師・従業員国民年金基金が移行した医師・医療従事者のための職能型支部です。

2024.4